

# 〈対面基礎講座〉日本油化学会フレッシュマンセミナー OSAKA (2026)

## 主 題 : 界 面 科 学 と 界 面 活 性 剤

フレッシュマンセミナーOSAKA は、若手研究員だけでなく新たに界面科学と界面活性剤を学ぶ方に最適な基礎講座です。テキストの内容だけでなく最新データを取り入れながら講義を行います。また、セミナー終了後、交流会を企画しており、他の受講者との交流や一部講師への質問などができますので、多数のご参加をお待ちいたしております。

主 催 公益社団法人 日本油化学会 関西支部  
共 催 一般財団法人 油脂工業会館  
日 時 令和 8 年 8 月 6 日 (木)  
会 場 大阪産業技術研究所 森之宮センター (旧大阪市立工業研究所)  
〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1-6-5 0

[交通] JR 環状線または地下鉄森ノ宮駅より東へ 350m、赤十字血液センター交差点を北へ、森之宮小学校北隣り

### 参 加 費 (テキスト代含む)

会 員 種 別	参加費/円 (税込価額、税率10%)			
	1 名	2 名	3 名	1 名増える毎
本 会 正 会 員 (個人会員)	15,000	—	—	—
本 会 法 人 会 員 (一括申込に限り)	15,000	24,000	33,000	左記+9,000
★ 会 員 以 外 の 方	26,000	—	—	—
学 生 ・ 永 年 会 員	3,000	—	—	—

※ 適格請求書発行事業者の登録番号 T5010005016408

交 流 会 令和 8 年 8 月 6 日 (木) 18:00~20:00

「鉄板グリルパブ BOSKE (ボスケ)」森ノ宮駅前

参加費 : 3,000円 (学生1,000円) 当日取りまとめます。参加希望者はセミナー申込時に申請ください。参加費を支払われた皆様には、所属機関で仕入税額控除が可能な預り金精算書を発行いたします。

### ★ 会員の割引特典

#### 1) 本会正会員

申し込み時に本会に入会されますと、セミナー参加費を会員価格とします。

会員になると、年会で発表することができ、学術誌J. Oleo Scienceへの掲載料40,000円が会員価格20,000円となります。また更に毎月、本分野の総説・技術特集、基礎講座や学会イベントの会告と開催報告などを掲載した会員誌「オレオサイエンス」が配布されます。

#### 2) 法人会員

社内で取りまとめて一括申し込みされると2名目からは9,000円/人で受講頂けます。

#### 3) 学 生

若手研究者育成の観点から学生の受講者を優遇します。会員資格の有無にかかわらずテキスト付きで参加費 3,000 円で受講可とします。

◆テキスト 日本油化学会編「界面と界面活性剤-基礎から応用まで-」  
改訂第2版を使用します。

2020年10月発刊本文333ページ。

申込問合せ 〒536-8553 大阪市城東区森之宮1-6-50  
大阪産業技術研究所 森之宮センター  
(公社)日本油化学会関西支部  
フレッシュマンセミナー担当  
小野 [daiskono@orist.jp]



申込方法 フレッシュマンセミナーOSAKA2026のGoogleフォーム

(<https://forms.gle/udrh1W2ZJ71zc3BZA>) から申込みください。Googleフォームにアクセスできない場合は、申込内容[氏名、会員番号(正会員の場合)、勤務先、連絡先所在地、電話番号、メールアドレス]を小野 ([daiskono@orist.jp](mailto:daiskono@orist.jp)) までメールでお送りください。参加費は締切日までに銀行振込で前納して下さい。なお、納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。

銀行振込先：池田泉州銀行大宮町支店・普通預金口座 78953  
(公社)日本油化学会関西支部事務局

申込締切 令和8年7月31日(金) [定員70名(先着順)]

## 演題と講師

### 1. 界面活性剤の構造と機能

10:00~11:00

大阪大学 木田 敏之 氏

界面活性剤は、起泡、乳化、洗浄、分散・凝集などの現象制御になぜ必要なのであろうか。様々な表面や界面における界面活性剤の作用や機能を理解するために、界面活性剤の分子構造とその溶液の性質、さらに界面活性剤の種類と用途などについて実用的観点から具体的な例を挙げて理解し易く簡潔に講義する(テキスト第3章)。

### 2. 分散系の科学

11:10~12:10

小林分散技研 小林 敏勝 氏

コロイド分散系の定義、分類、生成法、特性について解説する。物体間相互作用の立場から分散系安定性の支配要因を挙げ、安定性制御のための基本的指針を示す(テキスト第6章)。

### 3. 生活・化粧品用界面活性剤と乳化

13:00~14:00

三洋化成工業(株) 阿尾 信博 氏

水と油を混ぜることを乳化と呼ぶが、これは界面活性剤の重要な機能の一つである。乳化に関与している界面活性剤の役割について、生活・化粧品用界面活性剤の応用例を中心に交え、乳化のメカニズムなどを解説する(テキスト第8章)。

#### 4. 泡の科学

14:10～15:10

日油(株) 田上 安宣 氏

“シャボン玉は美しい。そして、それが空中に浮かんで揺れ動く姿は誠に面白い。”このような泡を意のままに操り、そして制御するには、我々はどうすればよいのだろうか？(テキスト第10章)

#### 5. ぬれと洗淨の科学

15:20～16:20

元 京都工芸繊維大学 川瀬 徳三 氏

ぬれとはどのような現象か？ぬれをどのように測るか？そしてぬれの尺度は？また、油汚れの洗淨における「ぬれ」の界面科学からの解明、および、ぬれ易くしたり、ぬれ難くしたりする原理などを解説する(テキスト第11章)。

#### 6. 界面活性剤と環境

16:30～17:30

第一工業製薬(株) 安村 優澄 氏

界面活性剤の環境へ与える影響、リスクの考え方、また環境中での分解機構とそれらの評価方法について述べる。さらに、どのような構造の界面活性剤が環境に適しているかについて解説する(テキスト第13章)。

〈交流会 18:00～20:00〉